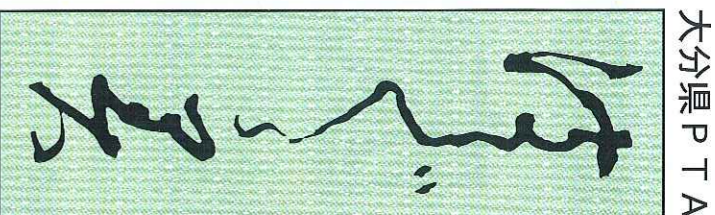


身につけたい つけさせたい

安全で安心 インターネット利用を考える 有害情報から子どもを守るテクニク



発行所
大分市下郡字長谷4966の38
大分県教育会館2F
大分県PTA連合会
会館(097)556-9055
責任者 藤田 千寿由
印刷所 九州出版印刷製本

インターネットの普及で便利になったが、反面その危険性も指摘されている。県PTA連では「IT学習会」有害情報講演会を1月29日、県教育会館にて開催した。(社)日本PTA全国協議会では環境対策委員会副委員長を務める藤田千寿由PTA連会長が、田島和彦(助)民事務局長を務める川崎市P連絡協議会ホームムービー顧問をお招きし実施した。田島氏は「知っていますか?子どもたちのネットあそび〜安全で安心なインターネット利用を考える〜」と題して講演し、保護者の無関心が危険を招いていると警鐘を鳴らす。



大分市に住む小学生の母親Aさん。「小4の娘は福岡に引越した友だちとメールをしは、クラスのほとんどが携帯を持っていてと買ってもメールをして困る」ことなはずではなかった。凶に示ような被害もある。このネット利用が加速する中、子どももその例外ではない。有害情報から子どもを守るための専門的な講演内容も起こらないからと安心さ

はじめに 安易に与えた 親に問題が

「連婚りの安全のため」に持たせたのに部屋電話を持っていてと買ってもメールをして困る」ことなはずではなかった。凶に示ような被害もある。このネット利用が加速する中、子どももその例外ではない。有害情報から子どもを守るための専門的な講演内容も起こらないからと安心さ



開会あいさつする藤田県PTA連会長

親子1 親がまず 勉強しよう

子ども自身が被害者にも加害者にもなる可能性がある。自己紹介サイト、掲示板など同世代の子と思つて個人情報や、ウソの情報を書き込んだり、名譽棄損容疑で書かされるなど、いやがる子どももいるが許してはダメ。

親子2 ネット社会の 怖さを教えよ

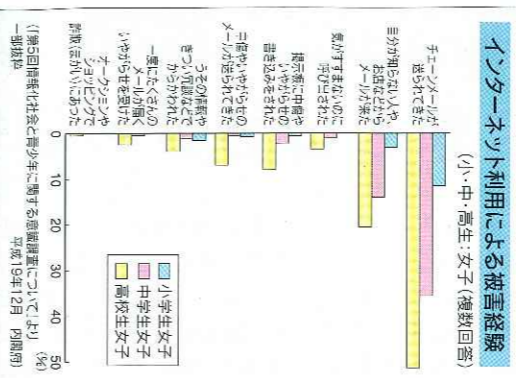
子ども自身が被害者にも加害者にもなる可能性がある。自己紹介サイト、掲示板など同世代の子と思つて個人情報や、ウソの情報を書き込んだり、名譽棄損容疑で書かされるなど、いやがる子どももいるが許してはダメ。

親子3 守るために フィルタリングせよ

インターネット接続サービス(今後18歳未満原則加入)の娘さんになると言う「隣でパンコンの場合、プロバイダで慎重になると言う」隣でパンコンの前には、専門的な知識を持つた人に、事例をあげて詳しく説明してもらおうこと



ネットは世界の人とつながる。匿名性はない。相手が見えないから、離れているから、など見づから責任の時代は終わった。責任のある行動をしないと大変なことになる。匿名性はない。相手が見えないから、離れているから、など見づから責任の時代は終わった。責任のある行動をしないと大変なことになる。



親子1
親がまず
勉強しよう

子ども自身が被害者にも加害者にもなる可能性がある。自己紹介サイト、掲示板など同世代の子と思つて個人情報や、ウソの情報を書き込んだり、名譽棄損容疑で書かされるなど、いやがる子どももいるが許してはダメ。

親子2 ネット社会の 怖さを教えよ

子ども自身が被害者にも加害者にもなる可能性がある。自己紹介サイト、掲示板など同世代の子と思つて個人情報や、ウソの情報を書き込んだり、名譽棄損容疑で書かされるなど、いやがる子どももいるが許してはダメ。

親子3 守るために フィルタリングせよ

インターネット接続サービス(今後18歳未満原則加入)の娘さんになると言う「隣でパンコンの場合、プロバイダで慎重になると言う」隣でパンコンの前には、専門的な知識を持つた人に、事例をあげて詳しく説明してもらおうこと

親子1
親がまず
勉強しよう

子ども自身が被害者にも加害者にもなる可能性がある。自己紹介サイト、掲示板など同世代の子と思つて個人情報や、ウソの情報を書き込んだり、名譽棄損容疑で書かされるなど、いやがる子どももいるが許してはダメ。

親子2 ネット社会の 怖さを教えよ

子ども自身が被害者にも加害者にもなる可能性がある。自己紹介サイト、掲示板など同世代の子と思つて個人情報や、ウソの情報を書き込んだり、名譽棄損容疑で書かされるなど、いやがる子どももいるが許してはダメ。

親子3 守るために フィルタリングせよ

インターネット接続サービス(今後18歳未満原則加入)の娘さんになると言う「隣でパンコンの場合、プロバイダで慎重になると言う」隣でパンコンの前には、専門的な知識を持つた人に、事例をあげて詳しく説明してもらおうこと

《用語解説》

- 親子1
*1 @police
http://www.cyberpolice.go.jp/
親向け子ども向けにセキュリティ対策解説。
「キッズ・インターネット」はゲームで楽しむためのルール。
*2 インターネット協会のホームページ。
http://www.lalapan.org/rule/
*3 インターネットカブツツカ。
http://www.kokoro-10kyo.jp/
*4 不適切な書き込みを行うと著作権侵害や威力妨害という罪に待ち受け画面にウイルスを隠して
*5 感情にまかせてメール、エスカルトメール、ブログへの誹謗中傷、なりすましメール、学校裏サイト
- 親子2
*1 いじめは、特定された児童にのみ、書き込みやメールの状態をチェツク。携帯でのみ検索。
http://www.nna.go.jp/cyber/
*2 インターネットトラゾルの総合相談窓口
http://www.lalapan.org/hotline/
*3 子どものための新ネットワーエ
*4 携帯のメールアドレスは3か月くらいで変更(元友人がなりすましメールで被害者になりすまし、悪事を行うのを防ぐため)
*5 子どものための新ネットワーエ
*6 出会い系以外のサイトでも犯罪に巻き込まれる。
*7 ナルカヤネットカブツツカエでネットする場合もある。注意。
- 親子3
*1 夢中になりすぎないように使い方のルールを決めよう!
*2 有害サイトにはシャットアウトしよう!
*3 迷惑メールは無視しよう!
*4 いきなりお金を払えとやられても払わない!
*5 ネットの悪口やいじめにひたひたでなやまない!
*6 学校裏サイトには近づかない!
*7 チェエーンに近づくか!
*8 プロログに顔写真や個人情報を書き込まない!
*9 出会い系サイトで人と会わない!
*10 作った人や写っている人の権利を大切にしよう!
(経済産業省・NPO日本ネットワーエ協会)

研心北

と。私の自作の四字熟語で申し訳ありません。「私の小さな思いや考えをあなたに文机のお側に届け致します」の宛名の脇付で玉案下、机下、待史と同類語で研心と同じ。北に座ることからお側の意である。実は私、退職後書業に生きています。毎日ながら書の世界からの知識や感覚を少しは他に語れるかもとお受けした次第。ならば何故、研心でなくて研北なのか? 研心は哲学の泰斗、西田幾多郎の居士号でもある。国泰寺(富山県)の雪門玄松から、参禅の熱心な修業を認められ授与されたという。出典は杜青詩「題」の一節「文章千古事、得失寸心知」からこのことである。浅学菲才の身としては仰きみの先哲の高名に纏る気が持ちからと、私にとって何よりうれしいのは、先哲が、書や音楽が「そのエッセイの中で」リズムの発想として大きな価値を有することを述べている。「生命の躍動を直接に具現する点に芸術の価値がある」と述べていることを知ったからである。(この項、岩波新書一〇六六「西田幾多郎―生きることと哲学」因って「研心」となった次第。お答になったでしょう。か。歩々道場、日々書をお届けしたい。

親子1
親がまず
勉強しよう

子ども自身が被害者にも加害者にもなる可能性がある。自己紹介サイト、掲示板など同世代の子と思つて個人情報や、ウソの情報を書き込んだり、名譽棄損容疑で書かされるなど、いやがる子どももいるが許してはダメ。

親子2 ネット社会の 怖さを教えよ

子ども自身が被害者にも加害者にもなる可能性がある。自己紹介サイト、掲示板など同世代の子と思つて個人情報や、ウソの情報を書き込んだり、名譽棄損容疑で書かされるなど、いやがる子どももいるが許してはダメ。

親子3 守るために フィルタリングせよ

インターネット接続サービス(今後18歳未満原則加入)の娘さんになると言う「隣でパンコンの場合、プロバイダで慎重になると言う」隣でパンコンの前には、専門的な知識を持つた人に、事例をあげて詳しく説明してもらおうこと

指定研究発表会

広がる活動 最強のサポーター隊

平成18・19年度の2年間にわたり県P連指定研究に取り組んできた3校のPTAがそれぞれの公開発表を行った。
 学校の規模育成のため家庭・学校・地域の連携した活動がみられた。
 今回の指導講師は、須殿恵美子県教育庁生涯学習課社会教育主事が3校とも行った。

PTA指定研究発表は、昭和24年、県教委が始めたのをきつかけに昭和31年から県P連と共催で引き継がれており、他県にはない県P連の特色ある事業である。
 現在は大分市より1単位PTAと、豊南・豊北の各郡市より2単位PTAを指定、2年間の振興を図り、大きな成果をあげている。

「地域の協育ネットワークを生かした優しい子たち」を考えた。特産品であることは知っていたが木にたさる稲を削らせた。昔の遊びにふれられた親子での活動が展開された。1年生は仰作りから取り組んだ。素材や歴史、自然を取り入れた親子への活動が展開された。3年生は竹田特産のカラス

自分たちの住む町をみこめなおよそ

4年生は学校の前を流れる稲葉川を調べ、川を守ろうとと女子児童は話した。た飲み物作りは楽しかった。先生は学校の前を流れる稲葉川を調べ、川を守ろうと

「子ども自立を促すPTA活動」物・人・自分づくりを研究主題に、国東市立国見中学校PTA(生徒数97名、会員数85名)が公開発表を行った。2年生は、身近にあるものを使い環境に負荷のない物づくりとして以前から取り組んでいた。指導者は「経験は成る生ダコに驚きながらも、手順に添って積極的に調理して、自分づくり」

地域を知り郷土愛を大きく

午前中は学年ごとのテーマに沿った公開活動として、1年生は、グリーンシーリズム研究会(都市と農村の交流をはかる活動団体)の方々を迎え、食文化を学び郷土愛を育てることをねらいに郷土料理作りをしてきた。今回はタコ飯に挑戦。学校での調理体験しかない子どもたちは、初めてさ

力強い結びつきが成果を

竹田市立豊岡小学校PTA

11月4日

を使った。2年生は、身近にあるものを使い環境に負荷のない物づくりとして以前から取り組んでいた。指導者は「経験は成る生ダコに驚きながらも、手順に添って積極的に調理して、自分づくり」



「竹馬名人」に注目!!

11月18日 国東市立国見中学校PTA

地区の協育ネットワークを考えた。特産品であることは知っていたが木にたさる稲を削らせた。昔の遊びにふれられた親子での活動が展開された。1年生は仰作りから取り組んだ。素材や歴史、自然を取り入れた親子への活動が展開された。3年生は竹田特産のカラス

地域の特色を生かした活動

11月18日



自然の力を感じながら

この活動に参加した際に拾ったゴミを流木として活用し、親子で流木アートに挑戦した。この日は3年生は、国見町の海岸清



地域の人が教わりながらしめ縄作り

地域の中の協育力が 学校を育てる

1. 2年生は手話を交じた。2. 3年生は手話を交じりながらしめ縄作りをした。3. 4年生は手話を交じりながらしめ縄作りをした。4. 5年生は手話を交じりながらしめ縄作りをした。5. 6年生は手話を交じりながらしめ縄作りをした。

継続は力なり 無理のない活動を

「子ども自立を促すPTA活動」物・人・自分づくりを研究主題に、国東市立国見中学校PTA(生徒数97名、会員数85名)が公開発表を行った。2年生は、身近にあるものを使い環境に負荷のない物づくりとして以前から取り組んでいた。指導者は「経験は成る生ダコに驚きながらも、手順に添って積極的に調理して、自分づくり」

教室の水槽の底にひっそりいる1匹の金魚。飼いはじめた時にいなくついたら寂しいよなと、自分で重ながら考えていました。今日は、3匹の金魚が泳ぎ回っています。もう1匹が新しく仲間を足して泳ぎ回っています。お友だちがやって来て嬉しく金魚に話しています。



みんななかよし

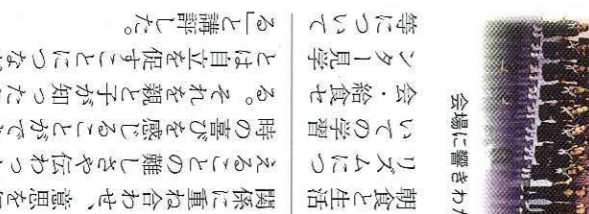
19年が2回目の指定研。佐藤淳一郎PTA会長から全体発表では、各専門部のこれまでの実践活動を紹介。地域は学校に協力的であり、子どもたちを見守りながら、それらが子どもたちから得られた知識が地域へ誇りとなり、それが子どもたちのすばらしい表情にあわれ

地域の中の協育力が 学校を育てる

「子ども自立を促すPTA活動」物・人・自分づくりを研究主題に、国東市立国見中学校PTA(生徒数97名、会員数85名)が公開発表を行った。2年生は、身近にあるものを使い環境に負荷のない物づくりとして以前から取り組んでいた。指導者は「経験は成る生ダコに驚きながらも、手順に添って積極的に調理して、自分づくり」

会場に響きわたる全校生徒の歌声

午後からはPTA活動に参加した際に拾ったゴミを流木として活用し、親子で流木アートに挑戦した。この日は3年生は、国見町の海岸清



平成19年度 教育問題懇談会

教育問題懇談会



県PTA連では、教育を取り巻く問題について県教委と共通理解を図るため、毎年1回教育問題懇談会を実施している。

今年度は平成19年11月20日、大分県教育会館において開催され、県教委からは、富松哲博教育審議監をはじめ関係各課より課長他14名、県PTA連からは藤田会長他副会長、理事、事務局員24名が参加し熱心な質疑応答が行われた。(各都市PTA連より出された要望事項は32項目にわたるが、紙面の都合で以下一部抜粋とした)

◎高校改革、後期再編整備計画について〈高校改革推進室〉

高校改革の中には、柱が3つある。その内の一つが再編です。再編については県全体というよりは、地域ごとの課題とすることがそれぞれ地域によって異なる。だから地域の懇談会を軸として置く。そこで十分にPTAをはじめ、関係者の方々から地域の再編についてどのように考えるのかということについての意見の説明会、小中高の全ての教職員を対象にした意見募集、中高生徒を対象に意見募集、それらの様々な意見を、総合的に勘案しながら、最終的にこの地域については、どの様な再編が一番適切なものかということについて、皆さん方と十分な議論をしながら、意見を尊重しながら進めていきたい。

地域と十分な意見交換をする中で、一番よい方法を見つけていきたいと考えている。

◎複式学級の全面解消について〈義務教育課〉

平成5年度以降、県単独措置により、国による標準を大幅に緩和した複式学級編制基準を設けており、中学校における複式学級の完全解消など、全国トップレベルの水準になっている。

本年度からへき地にあり、2複式学級編制になっている小学校に、学習の補助教員を配置した。

◎教育相談体制の整備・充実について〈生徒指導推進室〉

スクールカウンセラーの配置は昨年度公立中学校115校であったが、本年度、4月より公立中学校141校に全校配置ができた。

勤務条件については、国が提示しているの厳しい状況ではあるが、今後とも充実に向けていきたい。

小学校はスクールカウンセラーは配置していないが、子どもと親の教育相談員という形で16校、本年度配置した。

教育支援センター、適応指導教室については、今年度より由布市と竹田市に設置され、今ところ大分県で13市町と県教育センターにおいて、不登校児童生徒や保護者に対して、相談活動や体験活動、訪問指導等のきめ細かな支援を行う体制づくりを進めている。

各教育事務所に配置しているため、不登校対策相談室で、地域に密着した相談活動を行うとともに、県教育センター教育相談部においても相談活動を行っている。

◎教職員評価システムの成果や課題について〈義務教育課〉

平成18年度から実施している教職員評価システムの成果としては、職務に対する責任感が増すなど、教職員の意識改革が図られたこと、管理職と一般教職員との信頼関係が深まったことなどである。

評価システムが機能するためには、評価者の評価能力の向上が不可欠であり、客観性、公平性、納得性の高いシステムにするため、評価者研修の充実、教職員の能力開発や資力能力の向上と学校組織の活性化を図るため、今後一層努力していきたい。

◎情報モラルの指導について〈義務教育課〉

情報教育の推進にあたり、児童・生徒への情報モラルに関する指導は、極めて重要である認識している。そのため、教育委員会では、児童・生徒に対する啓発リーフレット、あるいは各学校が指導に活用できる各種教材などを配布、紹介するだけでなく、教職員の指導力を高める研修も実施している。

インターネットや携帯電話によるトラブル等の相談窓口として、各学校や市町村教育委員会が初輪のごとく、県教育委員会のホームページや、各教育事務所に設置しているいじめ不登校対策相談室、あるいは県の教育センターを十分に活用していきたい。

◎学校図書館の充実や図書館教育の振興について〈義務教育課〉

平成9年学校図書館法の改正により、平成15年4月から、12学級以上の規模を持つ全ての学校に司書教諭を配置している。その拡充に向けては国の策定する次期教職員配置改善計画に司書教諭が定数配置されるよう引き続き要望していく。

学校図書館の蔵書数等の充実については、毎年、文部科学省が実施する学校図書館図書標準の達成率等の実態調査をもとに、新学校図書館整備5ヶ年計画が生かされるよう各市町村教育委員会に指導をしている。

◎AED設置について〈体育保健課〉

高校は設置されているが、小中学校に於いては一部の市町村を除いて、未設置の状況である。県教育委員会も市町村教育委員会へ設置するよう指導していく。

◎学校施設の耐震検査、改修等の早期推進について〈学校施設課〉

学校が学習の場と同時に、生活の場である。また、災害時には、避難場所としての役割があるので、学校施設の耐震化については特に重要であると考えている。耐震診断の実施については、今年度で全ての小中学校で診断を終了することとなっている。

耐震補強が必要な学校については、国からの補助を活用しながら、早期且つ計画的に補強や改築など、耐震化の取り組みがなされるよう市町村教育委員会を指導していく。

平成18・19年度 大分県PTA連合会

知恵と工夫で

地域は

◆公開活動◆

学年	活動内容
1年	押し花のしおりを作ろう
2年	お話に出てくるお面を作ろう
3年	絵本を作ろう
4年	自分史を作るために、職業を知ろう
5年	パズルジャグラーを発表しよう
6年	親子ミニジャグラーを発表しよう

「地域に親しむ」を研究主題に、大分市立春日町小学校PTA(児童数594名、会員数494名)が公開発表を行った。

内部の構造を知ることや写真の上手に撮るポイントなどを学び、児童は「カメラの内部の仕組みが分かり面白かった。これからは光を上手に取り入れるように写真を撮ってみた」と感想を話した。

6年生は、加古里子の「どろぼうがっこう」の世界をミニジャグラーで表現。舞台道具



3年生による絵本の表紙作り

「協働」の輪から生まれる笑顔

1月19日

大分市立春日町小学校PTA

「地域に親しむ」の時間を活用しては親子レクrosの時間を活用して作った。地域で演出の指導を受ける方を迎え、発声やダンスの練習を重ねてきた。

会場の保護者からは「3学期に入って毎日のように練習をしてきた。本番も一生懸命頑張っていた」「声もよく通り、成長を感じた」と声が聞かれた。児童からは「ダンスや発声に苦労したけど、楽しかった。やり甲斐があった」と感想が聞かれ、指導に携わった植田さんには「練習を重ねるうちに子どもたちの気持ちに余裕ができてきて、進んで工夫ができるようになった」と述べた。

アトラクションでは伝統的に引き継がれている6年生による管鼓管隊、続いてフアンパレード(6年生の希望者による演奏が場内力強く響き、共に惜しみな拍手が送られた。



6年生の演奏にあふれる場内

全体会では、「豊かな人材と公共施設、交通の便が良いなどの地域の特徴を生かしながら、地域保護者との協働関係を深め、読書活動と音楽活動に力を入れた。その成果として、図書館の利用者が増え、読解力がついてきた」と2年間の実践活動を児童の感想を交えながら活動発表をした。

実りある 実践活動



PTAが果たす役割の中を愛せない親や、愛してもで、一番大切それを表現できない親もいる。それは「絆作ると聞きまして。そういう子どもも親もかわいそうです。

愛の絆

もちろんこれは難しい問題で、PTAは当然家庭内問題に入り込むことができませんが、すべての保護者、先生たち、そしてすべての児童としてすべての児童生徒と強い絆で結ばれることにもなります。つまりPTAに参加することは人に愛を送る、人から愛を受け取る貴重な機会だと思っています。ある会議で、私たちのまわりには親の愛を感じたことが無い子どもたちがいるという悲しい事実を聞きませ

れる中、地域活動部は子どもたちの作成するために、安全マップの作成をした。学年部は昨年度、6年生が「大分七夕まつり」子どもばつちんに参加したと報告した。

須藤主事は「大分市中心部」の学校、PTA活動がどう地域とつながればよいのかをテーマに、とても素晴らしい実践を行っていると感じました。講師した。

自転車もハンドル握れば、ドライブ

第31回大分県PTA 広報紙コンクール

皆さんのご応募を
お待ちしております

締切 平成20年 3月24日(月)
 審査日 平成20年 4月 2日(水)
 表彰式 平成20年 4月16日(水)

対象 県下の小・中・養護学
 校PTAで年3回以上
 定期発行した広報紙(号
 外を除く)
 (平成19年4月から
 平成20年3月発行分)
 審査対象は小学校と中学校の
 2部門とする。

「第31回大分県PTA広報紙コンク
 ール出品についてのお願い」は各
 学校PTAにお送りしています。

「悩みや関心事を記事に」が評価 全国小・中学校PTA広報紙コンクール 佐伯小・鶴谷中が入賞

佐伯市 PTA 連合会



日P大会での表彰式

村

ネットワーク 16

報



(16は県下郡市等PTA連の数)

広報部では青友会の事業や
 きなようにタイトルやイラ
 ストに工夫を凝らし、読み飽
 きたりしないように工夫な
 り目を引くものと考えています。
 各地区での活動を広報紙城山
 を通じて会員に報告し、また
 として誤字脱字や表記の誤り
 などを担当外の部員が「目を
 養えて」チェックしています。
 共通の悩みや関心のあること
 を通年の特集記事として掲載
 しています。
 号外を含む年5回発行をし
 部員は27名、部員の負担を減
 らすためクルミアに分け交互
 に担当をしています。
 作業は取り上げてもらった
 までの広報部員の努力の甲斐
 があり近年の県内の広報紙コ
 ンクールでの入賞、また今年
 トを行い会員の興味をリカ

佐伯小学校 青友会

鶴谷中学校 青友会

佐伯市立鶴谷中学校は生徒
 数375名、佐伯市の中心に
 位置し、青友会(PTA)活動
 も会長を中心に活発に行われ
 ています。
 広報紙「鶴谷」を編集してい
 る広報委員会は保護者委員16
 名を担当の先生方で構成され、
 各担当の先生方で構成され、
 編集会議や作業も楽しい雰囲気
 で進められています。
 年度始めの編集会議で、1
 年間の大きな計画を立てて
 いくのですが、その時に注意
 すべき点はこの通りです。

①青友会PTAの活動方針
 に沿った内容を中心とし、保
 護者により良く理解してもら
 える表現を考える。
 ②自分たちの今感じている疑
 問や知りたい事を年間のシリ
 ースとして取り上げ、皆で情
 報を共有できるようにする。
 この2つをしっかりと決めて
 から担当チームを作り、各々
 の作業に取り組んでいます。

PTAならではの 広報紙を

時「PTAにしかできない内
 容を伝える」事が重要なのだ
 と思います。入学式、卒業式
 運動会などの学校行事は学校
 のお知らせとしてプリントを
 出してもらえますが、PTA
 の各委員会活動や給食費完納
 の呼びかけ等、保護者同士で
 Aの広報紙でしか出せないの
 です。
 “私たちの広報紙が青友会
 員の心を一つにする、その
 気持ちを皆が取り組んでい
 ます。
 広報委員長 安藤 洋子



熱心に取り組む編集作業

また、今年度より学区内
 の全家庭に配布しています。
 これは地域全体で子どもたち
 を育てていければと思います。
 さらに昨今、問題となっている
 登下校時の防犯のことなどを
 取り上げ地域の方々にも協
 力を呼びかけています。
 広報部長 大岩 弘幸

PTA新聞の役割を考えた
 2部門とする。

あなたのすべてを守りたい。

みんなが
かたがた
こたがる
コーナー

反折期
どう接したらいいの?

言葉に気持ちを添えて

20年度の任意保険の募集が始まります。

3月1日より

《申込期間》 4/1加入：3月1日～3月31日
 中途加入：4月1日～4月28日
 《保険の種類》 自転車補償(1年間) 930円
 育児補償(1年間) 4,900円

4月より新しい補償制度となり、補償内容も充実を図っています。
 ぜひこの機会にご加入ください。19年度までの共済制度は終了しますが、
 保険請求については今までのとおり下記までご連絡ください。

取扱代理店 トータルアシスト 0120-112-357
 大分県PTA連合会事務局 097-556-9055

6年生の男の子の母親で
 日常的になれば、言葉が飛び
 交うばかりで気持ちがうまく
 とですが、最近、私の指示的
 な言葉に敏感に反応し、キレ
 えられます。言葉に気持ちを
 添えて話すことが大切と言
 ることがありますが、私の短気
 ことでしょ。それは微笑
 な面が似ているのかもしれない
 みかけたがり、うなずいたり、
 なつてしま、子どもの気持ち
 を伝えたい一方的な語にな
 っているのではないかと思っ
 ています。私たちが相手にメッセ
 ジを伝える場合、そのほとん
 どが(93%という説もあり)
 きつい親の顔つきが、子ど
 もに不安感を与えることばあ
 りませんか。
 みんなで考えるコーナー
 岩尾 淳一

今年度は九州プロックP
 う、大きな行事を控えての
 始まりとなりました。
 母親部として九P大会に
 どう関わっていくか等不安
 なところではしたが、皆様
 方のご協力のおかげで無事
 に終える事ができました。
 大変感謝しています。
 情報交換で
>つながる都市

今年度には九州プロックP
 う、大きな行事を控えての
 始まりとなりました。
 母親部として九P大会に
 どう関わっていくか等不安
 なところではしたが、皆様
 方のご協力のおかげで無事
 に終える事ができました。
 大変感謝しています。
 情報交換で
>つながる都市

子どもの「夢」放送中!!

TOS 毎週日曜日 朝7:45より

「TOS」の「夢」放送中!!

大分県に住む子ども
 たちの夢を全力で伝
 達しサポートするシ
 リーズ番組「TOS」

参加者
 臼杵市立豊洋中学校
 那須聖夫さん(2年生)
 佐伯市立鶴見中学校
 磯川 舞さん(2年生)

日程
 平成20年3月26日(火)
 3月31日(日) (泊6日)

訪問先 中国・北京
 他日本PTA全国協議会主催

大分県PTA連合会のホームページ誕生

平成19年12月11日(火)に、県P専門部会
 (IT活用検討部会)が、ホームページを立
 ち上げました。
 ぜひご覧ください。

※県Pホームページアドレス
<http://www.oita-pta.com/>

【お詫言と訂正】

第300号記念号平成19
 年12月12日発行1面の大会
 スローガン、九州は一つの文
 字の地帯様に使った九州の地
 図の中に沖繩県が入っていま
 せんでした。お詫言致します。

編集後記

取材→資料整理→原稿→推
 散を繰り返した6年間。今回
 の1面、読みやすく仕上げた
 かな。春、子どもと共に卒業
 の記事は遠慮簡明な文章で書
 きたい。思いは美しい日本語
 の言葉で話したい。

◆鉄が打ては打つほど強くな
 るように、文章も助言を受け
 書き直すことに引き締まって
 いくことを強く感じました。

▼通学路できれいに咲く梅の花
 をみつけたと話す中1の娘
 を抱き持つ日が来ても画面はか
 りでなく自然に目を向けてね。
 ▼物は言いよう考えよう。心
 は持ちよう思いよう。どうに
 でもなる。だから難しい。
 ▼編集に携わり早1年。諸先
 輩方に教えられる学んだことは
 数知れず…。敬意を込めて伝
 えた、感謝の気持ち。

日中友好少年少女の「愛」

日中PTA全国協議会主催

訪問先 中国・北京

日程
 平成20年3月26日(火)
 3月31日(日) (泊6日)

参加者
 臼杵市立豊洋中学校
 那須聖夫さん(2年生)
 佐伯市立鶴見中学校
 磯川 舞さん(2年生)